

SMC 平和の実現 WG 主催講演会

宗教とウェルビーイング ーカルト問題から見えてくるものー

日本を含めたアジア社会では仏教、イスラム教、キリスト教など多様な宗教が重要な社会的役割を果たしてきました。しかし近年では政治的・社会的問題を背景に、既存の宗教に代わってカルト的な新興宗教や宗教原理主義が生まれ、言葉巧みに人々を取り込み多くの被害を生んでいます。

櫻井義秀先生は、長年カルト問題の実証的な研究と被害防止対策に取り組んでこられたほか、アジア地域の仏教、キリスト教などが果たす役割と、宗教が社会にもたらすウェルビーイングをアジア地域や北海道も事例にしてご研究されています。

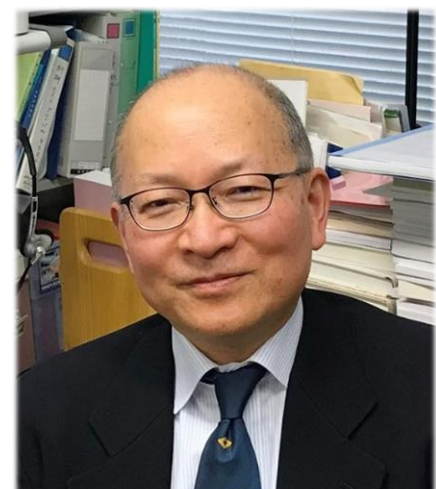
当日は、旧統一教会やエホバの証人の事例も交えながら、宗教とウェルビーイングについて日本やアジアの事例からお話をいただき、宗教リテラシーを高めるとともに、宗教の社会的意義を考える機会とします。

講師

櫻井 義秀 先生

(北海道大学大学院文学研究院教授)

1961 年山形県生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士課程中退。2004 年から北海道大学大学院文学研究院教授。専門は比較宗教社会学。2023 年の近著に、櫻井義秀『統一教会ー性・カネ・恨（ハン）から実像に迫る』中公新書。櫻井義秀・猪瀬優理編『創価学会ー政治宗教の成長と隘路』法藏館。櫻井義秀『信仰か マインドコントロールかーカルト論の構図』法藏館。



日時

7/11 (火) 16:20~17:50

会場

北星学園大学 C700教室

対象

**本学の学生、教職員、一般の方々に
ご参加いただけます。**

一般の方でご参加を希望される際には、事前に
北星学園大学 総務課(soumu@hokusei.ac.jp)まで、
お名前、ご住所、お電話番号を添えてお申し込みください。

主 催：スミス・ミッションセンター

問合せ：北星学園大学 総務課 (TEL: 011-891-2731)